

3D金属プリンター素材の鋼種 向け

KANUC

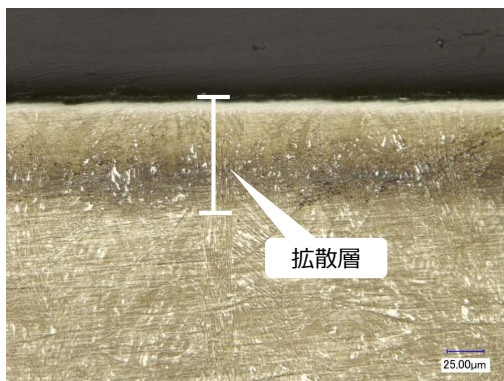
カナック

カナック処理ならば、独自のガス窒化により、マルエージング系をはじめとする3D金属プリンター素材として挙げられる鋼材の表層に硬化層を形成し、耐摩耗性・耐久性を高めます。

カナック処理なら

3D金属プリンター で作った金型も
表層が **硬く** なります!

3D金属プリンター製作ならではの課題も解決!



3D金属プリンター製
マルエージング鋼 テストピース

処理後 金属組織写真 (1,000倍)

テストピース提供：白銅(銅)様
装置：3D Systems社 ProX300

寸法変化は極小



寸法変化量はわずか、数 μm 程度

どんな形状も



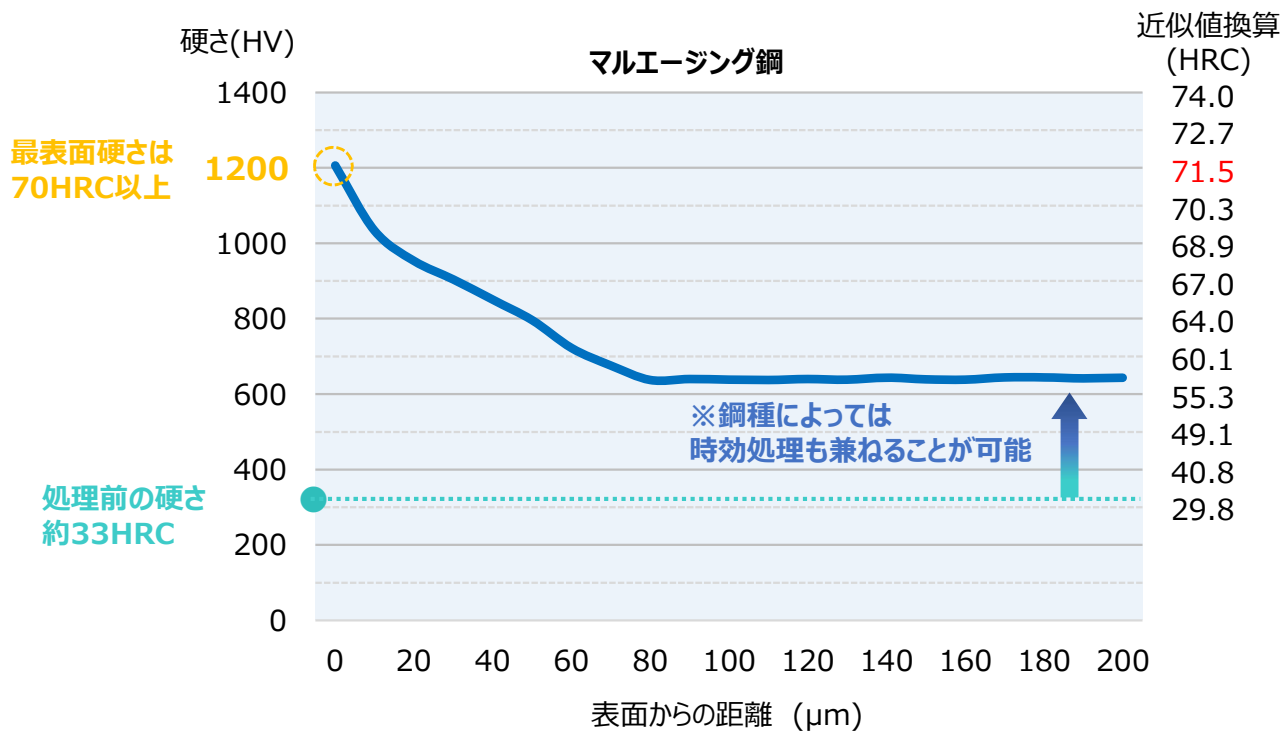
細かい穴の内部や、複雑な形状にも
均一な効果層を形成

色々な材質に



マルエージング鋼だけでなく、
SUS420J2系やSCM鋼にも対応

■ 処理後の硬さ分布曲線 (3D金属プリンター製 マルエージング鋼)



■ 3D金属プリンター素材として挙げられる鋼材の処理後硬さ (参考値)

鋼種	処理前 表面硬さ(HV)	処理後 表面硬さ(HV)
マルエージング系 (MAS1C/YAG等)	450~600	1,000~1,300
SUS420J2系	450~600	1,100~1,300
SUS316系	200~300	1,100~1,500
SUS630系	250~350	1,200~1,400
高速度工具鋼系	700~850	1,000~1,300
コバルト基合金系 (ステライト®等)	400~500	1,100~1,300
ニッケル基合金系 (ハステロイ®等)	450~550	1,100~1,300
SKD61系	350~500	900~1,100

上記以外の材質も、成分により処理できる可能性があります。

